



2018. 6. 3 沖縄連帯のつどい

全国革新懇主催（安保
破棄実行委員会共催）の
辺野古連帯行動（6月1
日〜3日）、沖縄連帯の
つどい（6月3日）に愛
知から2名が参加。この
企画に参加したのは75名。
それ以外に個人で参加し
た人が30人以上。辺野古
基地での土砂の投入が企
図され、辺野古新基地建
設を許さない県民投票が
始まる重要な時期での取
り組みとなった。島ぐ

追い込まれているのは安倍政権 ―辺野古連帯行動・沖縄連帯のつどい― 革新・愛知の会事務室長 村上俊雄

6月1日、16時から名
護市公民館で集会が行わ
れた。稲嶺前市長が三期
目に敗れたことに謝罪。
名護市長選は前代未聞の
国家（官邸）との選挙戦
となった。人口6万の市
に2週間で国会議員が1
00名以上も訪れ、期日
前投票・動員のためにレ
ンタカー200台が利用
された。前市長は「いま
も辺野古での座り込み
に参加している」と語った。
6月2日、午前中、キャ
ンプレシユワブ、ゲート前
での座り込み、昼をはさ
んでテント小屋での60
0人の集会が開催された。
この日は、トラックによ

I. 辺野古での集会・
連帯のつどい
るみでの基地押しつけに
抵抗している沖縄の住民
が900人集まった。
6月1日、16時から名
護市公民館で集会が行わ
れた。稲嶺前市長が三期
目に敗れたことに謝罪。
名護市長選は前代未聞の
国家（官邸）との選挙戦
となった。人口6万の市
に2週間で国会議員が1
00名以上も訪れ、期日
前投票・動員のためにレ
ンタカー200台が利用
された。前市長は「いま
も辺野古での座り込み
に参加している」と語った。
6月2日、午前中、キャ
ンプレシユワブ、ゲート前
での座り込み、昼をはさ
んでテント小屋での60
0人の集会が開催された。
この日は、トラックによ

II. 軍事基地―その危
険性を体感する
る搬入はなし。カナダに
住んでいる女性が金網越
しに基地の米兵に向かっ
て、「Go back to your
country!」と叫んでいた。
子連れの若い夫婦も参加
した。また、もとむら仲
子衆議院議員が応援に駆
け付け国政を紹介。参加
者は、この後、元氣よく
市内の中心街をパレード
しました。（豊田市民ア
クションニュースより）

1959年6月、宮森
小学校にジェット機墜落。
小学生11名を含む17名が
死亡、200名以上が重
軽傷をおった事故現場を
訪れた。市役所で展示が
行われており、小学校へ
も出かけた。慰霊のため
の碑には武者小路実篤
（作家）が筆を取ったこ
とを知った。道の駅から
嘉手納空軍基地を見学。
空中給油機、戦闘機も。
道の駅では米軍基地の資
料が展示されている。オ
スプレイは中国にまで飛
ぶことが出来、どこでも
離着陸でき、敵強襲を行
う。そのムリな機能のた
め事故多発も。
6月3日、午前中、普
天間海兵隊基地を金網越
しに見る。十数機のオス
プレイが整備と待機。こ
のオスプレイを日本の自
衛隊も購入、横田などに
配備している。言葉だけ
でなく米軍基地の危険性
他国の領土を専制的に占
有している理不尽性を強

III. 「沖縄連帯のつど
い」―新基地建設ス
トップ、誇りある豊か
な沖縄へ
6月3日、午後、沖縄
コンベンションセンター。
開会冒頭「みなさんは革
新、私は保守」―自民
党を除名された金城徹元
那覇市議会議長、県内有
数の企業グループ会長で
「県民は新基地建設を望
んでいないことを日本政
府・官邸につきつけよう
と県民投票を提起してい
る」呉屋守将さんが連帯
のあいさつを行った。
土木技術者で抗議船舶
長・北上田毅さんの分析
は、辺野古基地建設は不
可能だと結論づけた。①
防衛局のボーリング調査
により大浦湾の深い所が
軟弱地盤で基礎工事がで
きない②同じく活断層も
大浦湾の深い所を走って
いる③サンゴ類を移植し
ないまま工事を進行④翁
長知事は工事が県との約
束に違反して進められて
いるので埋立工事承認を
撤回⑤知事選で翁長さん
が勝利すれば確実に工事
はストップする。
メイン講演「基地のな
い沖縄へ―世界の激動
の中で展望を語る」は志
位和夫共産党委員長が行
った。①朝鮮半島の平和の
激動によって「基地押し
つけ」論は崩壊②沖縄を
核の基地にしない―
「核のない世界」めざす
世界の主流と響き合う③
展望を現実のものにする
力は立場の違いを超えた
共闘にある。
その他、ヘリ基地反対
協共同代表・安次富浩さ
ん、新基地をつくらせな
い会・松田藤子さん、高
江・ヘリパットいらない
住民の会・伊佐真次さん
の訴えも。
本土からの発言に私も
参加。朝鮮半島非核化の
中でどう闘うかを提起し
た（詳しくは、全国革新
懇記録集を参照）。

改憲阻止！
3000万署名
達成へ！

各地の取り組みをご紹介します。



7/7 千種区 リスタート集會

千種・名東アクション
リスタート集會
7月7日、千種名東市

民アクションは、千種区
内で「リスタート集會」
をひらき、40人が参加し
て交流し、田巻弁護士が
ミニ講演を行いました。
参加者による討論では、
「道徳教科書の展示会へ

行ってきた。国民的対話
の力量をつけたい」と
「知人に手紙でよびかけ
たら思わぬ反響がかえっ
てきた。もう一度、今の
状況を知らせるところか
ら始めたい」「毎月第2
日曜日、東山公園前で署
名活動をやってきた。こ
れで終わりかと思ったら、
リスタートをよびかけら
れた。また、がんばりた
い」「学生たちは『わか
らん』というが、話せば
わかる。対話が大事」
「草の根から。家庭の中
から、が大事」「毎月3
日と19日の行動を続け
てきた。安倍の執念に負
けたらいかん」「9条
の話をして今の生活が
まあまあでよければと言
う人に、自らの戦争体験、
疎開などの話をしながら
署名を集めている」など
など、活発に討論が交わ
されました。（黒田 郎）

今集会には、社民党愛
知県連代表が連帯のあい
さつをし、緑の党からは
メッセージが紹介されま
した。また、もとむら仲
子衆議院議員が応援に駆
け付け国政を紹介。参加
者は、この後、元氣よく
市内の中心街をパレード
しました。（豊田市民ア
クションニュースより）



5/12 豊田市 パレードの様子

豊田怒りの行動が5月
12日、愛環鉄道新豊田駅
前広場にて行われ、市民
80人以上が参加。梅村浩
司豊田市民アクション代
表は「3000万人署名
を広げ、9条改憲を阻止
しましょう」と、あいさ
つ。

近ごろ 思う こと 48

猪瀬 俊雄
(元裁判官)



与えられたテーマにつ
いては、やはり平和です。
学生時代から毎日曜日に
与ってきたカトリック教
会のミサの祈りの核心は、
「この世界にキリストの
平和をお与えください」
という祈りであり、ミサ
の終りには、「行きましよ
う主の平和のうちに」と
「主の平和を生き、その
ための活動をしてきなさい
」と送り出されるもの
です。
ところで、平和とは何

本当の秩序、平和は いつくしみとまこと に基礎を置く政治

でしよう。「平和は秩序
の静けさ」（トマス・ア
キナス）と定義され、
「いつくしみとまことは
いだき合う：正義は神の
前を進み、平和はその足
跡に従う」（旧約詩編85）
との部分もミサでよく朗
読される箇所です。つま
り、いつくしみとまこと
ある正しい平和が失われ、
さらに後戻りできなくな
る状況が迫ってきていま
す。専守防衛を踏み越え
た戦争法、無意味な核の
傘理論への固執、戦争に
なれば、最初の攻撃対象
になる安保条約による米
軍基地の島、生け贄とさ
れてしまっている沖縄問
題、森友・加計問題で露
呈した政府・官僚組織の
不正、腐敗体質、国会の
審議機能不全、元々安全
性の解決不能な原発政策、
いつの間にか天照大神の
子孫が支配する国に戻り
つつあるような天皇制等々
どこに正しい秩序を追求
する姿勢があるのでしょ
うか。取り返しのできな
い社会状況に突入しそ
うな危機感に焦るこの頃
です。

猪瀬俊雄さんは、20
16年4月号インタビュー
に登場され、「集团的自
衛権の本質は他国防衛権
―主権者として声をあげ
るとき―と語っていただ
きました。